

更生保護女性会会長賞

堺市立 鳳小学校 六年

丸 橋 は る 香

言葉の力

高学年になってから、

「死ね。」や「ぶっころすぞ。」

そんな言葉がときどき聞こえるようになった。私は、なぜそんなにこわい言葉をふつうに言えるのか分からなかった。低学年やよ
うち園のときはそんなことはなかったのに。私は、そんな人は、
その言葉の意味を考えずに使っているのだと思う。

例えば「死ね。」だったら、もし本当に相手が死んでしまったら
どうなるのか、その家族や親せき、友達はどうな思いになるのか。
それを想像したら、そんな言葉を使うことはできないと思う。

ニュースでも、ひぼう中傷による自殺、というのをきいたこと
がある。それも、SNSで悪口を書きこんだ人が、「もし、それが
自分や親しい人たちに向けた言葉だったらどう感じるか。」そのこ
とを想像することができていたら、そんなことにはならなかった
はずだと思う。

でも、いやな気持ちになる言葉だけではなく、聞くとうれしく
なる言葉もたくさんあると思う。ありがとうやがんばってね、上

手だね、すごいね、など、他にもたくさんある。

私にも、そんな経験をしたことがある。運動会できば戦をして
いたとき、同じチームの子から、

「がんばってやー。」

と言われて、がんばろうと思えた。

あいさつも、その言葉の一つだと思う。友達から朝「おはよ
ー」と言われただけで気持ちがよくなるし、「ありがとう。」と言
われたらうれしくなる。

私は、いやな気持ちになる言葉よりも、あいさつや相手がうれ
しくなるような言葉がもっと増えたら、今よりも社会が明るくな
ると思う。

言葉は、少しでも使い方をまちがえてしまうと、それは相手を
きずつけ、ときには相手を「死」まで追いつめる凶器になってし
まう。でも逆に、正しい方法で使うと、たった一言だけで相手が
うれしくなったりはげまされたり、気持ちがよくなったりできる
すばらしい道具になる。言葉は、二つの意味ですごい力をもって

いると思う。

だから私は、口から出る言葉の本当の意味を考え、正しい方法で使える人になりたい。

